

082

土砂災害に備えた強靱ワイヤーネットの施工による防災・減災

取組主体	法人番号	事業者の種類（業種）	実施地域
東亜グラウト工業株式会社	4011101042678	その他防災関連事業者 （製造業）	東京都

- 東亜グラウト工業株式会社は、「砂防新技術フォーラム」の構成員であり、強靱ワイヤーネット工の普及により、減災・防災を推進している。
- 強靱ワイヤーネットとは「土石流等の衝撃に耐える高強度の鋼製バリア」であり、衝撃時に部材がたわむことで、大きな衝撃を吸収できる。従来のコンクリート等の剛構造に比べて柔構造であることが特徴であり、設置に必要な期間が短く（1～2か月）、設置場所の自由度が高い上、環境への負荷も低減できる。また、その性能と安全性は実物実験により確認されている。
- 土石流や斜面崩壊土砂による土砂災害が発生した箇所、または発生が予測される箇所の斜面上部に強靱ワイヤーネットを設置することで、短期間での減災効果を発揮でき、平成 26 年 8 月豪雨による広島市での土砂災害現場での応急対策として、36 箇所で施工されている。さらに、一部部材を追加・補修することで、転用が可能ことも大きな特徴である。



▲広島市の土砂災害現場への適用事例



▲スイスでの土石流の捕捉実験